



パートナー紹介

パートナー紹介

～工事施工者がメダカ池の清掃に協力～花巻市

去る、6月5日花巻市高松地内の「メダカ池」において、矢沢小学校5年生80名による環境整備（鮎・アメリカザリガニの駆除）が行われました。

この駆除作業は、「メダカTOVE（トープ）協議会」が呼びかけ、「矢沢小学校」と「人間学習塾」が協力して行われました。

この作業を行うにあたり、近くの国道で県工事を行っている（株）小原建設と（株）伊藤組の2社が、事前準備として池の周りの除草作業と、池の水を汲み出すなどの作業に協力しました。

通称「メダカ池」には、平成11年秋に花巻空港の拡張工事に伴い引っ越ししてきた、「黒メダカ」が保護されています。今回はこの「黒メダカ」の害敵となる、鮎やアメリカザリガニを駆除し、池を「黒メダカ」の繁殖しやすい環境にしようとするものです。

「黒メダカ」は野生メダカであり、環境省指定絶滅危惧Ⅱ類・岩手県レッドデータB種に指定されている希少種です。

県内に生息する種は、南日本集団東日本型に分類され、太平洋側を北上してきたものとされ、花巻付近が北限とも言われています。

メダカを取り巻く環境が、都市近郊の開発による生息地の激減や、生活雑排水・農薬等による水質の汚染などにより年々悪くなるなかで、「メダカ池」に生息する「黒メダカ」は貴重な存在です。



上：池の水を汲み出し中 下：黒メダカ



捕獲格闘中

